

藤生長野バイパスの整備効果

藤生長野バイパスの整備により、渋滞が緩和し、災害時等の代替性が確保され、通行時の安全性が向上することにより、沿線地域や周辺地域に対して、物流面等での信頼性の高いルート確保等、様々なストック効果*が期待されます。

※ストック効果
道路が整備されることで、その地域の生産性を向上させる効果や、安全性・快適性を高め、衛生環境を改善するなど生活の質を向上させる効果を長期的に生み出すこと

効果① 交通の転換による渋滞の緩和

当該道路の整備により、**速達性の高い道路ネットワークが形成され、現道の交通が当該路線に転換することにより、現道で発生している渋滞の緩和が期待されます。**

効果② 走行性・安全性の確保と死傷事故の減少

当該道路の整備により、安全で快適な走行環境が形成され、**現道の線形不良箇所を回避した走行が可能となり、また、交通の転換により現道の渋滞が緩和するため、死傷事故の減少が期待されます。**



効果③ 災害等に強い道路ネットワークの確保

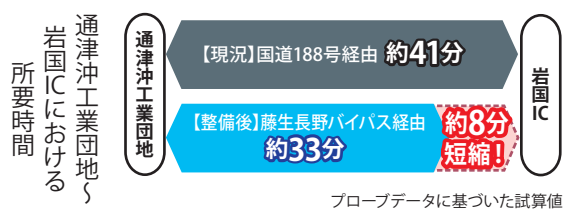
当該道路の整備により、**現道の代替路として機能する道路が整備されます。現道が越波や交通事故により通行止めになった際には当該道路が代替路となり大幅な迂回が解消することで、住民生活や企業活動を担う道路ネットワークの確保が期待されます。**



所要時間:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いた試算値

効果④ 地域産業活動支援

当該道路の整備により、**岩国ICや岩国港とのアクセスが向上され、工業団地から岩国ICや岩国港への時間短縮により物流の効率化が期待されます。また、災害時には代替路として機能することで、地域産業の活性化が期待されます。**



一般国道188号



藤生長野バイパス





※地図上のルートは概略上の位置を示しているものであり、今後現地測量等を実施し、決定していきます。
 測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R5JHF223 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

藤生長野バイパスの概要

一般国道188号は山口県岩国市から同県下松市に至る約72kmの主要幹線道路です。藤生長野バイパスは一般国道188号の岩国市藤生町から同市長野間の交通混雑の解消及び交通安全の確保を目的とした延長7.6kmの道路です。

隣接する岩国南バイパスおよび岩国・大竹道路と一体となって岩国市街地中心部の安全性の向上及び交通の円滑化に寄与します。



事業概要	
事業名	一般国道188号 藤生長野バイパス
延長	7.6km
起点	山口県岩国市藤生町
終点	山口県岩国市長野
道路区分	第3種第2級
設計速度	60km/h
標準幅員	11.5m(2車線)
事業化年度	令和元年度(平成31年度)

現状と課題

①交通渋滞等による交通事故の発生

当該区間の現道では渋滞に起因した追突事故が全国平均以上の割合で発生しています。

また、線形不良箇所等による正面衝突割合も多く、全面通行止めを伴う事故も発生し、日常生活や経済活動に支障をきたしています。



岩国市青木町付近における渋滞の様子 (令和4年3月)

②災害に対し脆弱な国道188号

当該区間の現道には越波による事前通行規制区間及び津波発生時に浸水が想定されている区間が存在しています。通行止めの場合には大幅な迂回を強いられることもあり、災害に対する脆弱さが課題となっています。



事前通行規制区間における越波の様子 (平成17年9月6日 台風14号)

③物流を阻害する交通集中区間

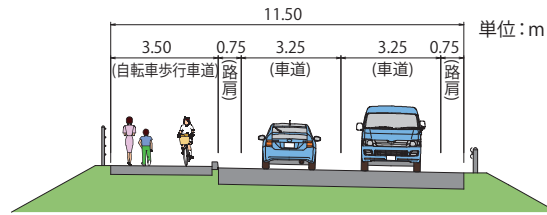
通津沖工業団地及び由宇干拓工業団地に立地する事業所を発着する車両のうち当該区間を利用する割合は、原材料の輸送で約9割、製品の輸送で約7割を占めています。

当該路線の現道は、南北方向を連絡する唯一の主要幹線道路ですが、沿線には住宅団地が立地しており、通勤・通学時間帯を中心に当該路線に交通が集中し、物流活動に支障をきたしています。



標準断面図

土工区間



橋梁区間

